

2020年7月発行

議会だより

梶原正憲

☎ 44-4719

📞 090-5389-9936



夏の使者 セタとひまわり



かごしま国体・かごしま大会の機運醸成を高めるポロシャツ着用

夏の到来に当たり、皆様にはご壮健にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

わが国においても今年に入り新型コロナウイルス感染症が発生し、パンデミック(世界的大流行)となり緊急事態宣言が発せられ、感染者18,110人、死亡者968人(6月25日現在)であります。

関係者の皆様にご心より謹んでお悔みとお見舞いを申し上げますと共に、医療従事者などの皆様に対し敬意を表します。

また、オリンピック・パラリンピック、燃える感動かごしま国体・かごしま大会の延期に加え、各種イベントの中止や消費低迷による景気の悪化など社会・経済も深刻な事態になっており、国においても5兆7,028億円の補正予算を組んで感染症対策に取り組んでおります。

鹿屋市においても、いち早く「新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置し、情報収集並びに注意喚起及びマスク・消毒液の配布を行うと共に、「財政調整基金やふるさと納税寄付金」及び国の緊急経済対策による「地方創生臨時交付金」を活用した感染症拡大防止対策や、消費喚起に伴う支援策として「特別定額給付金や臨時職員の雇用並びに事業継続支援金及びプレミアム商品券」などの120億8,528万9千円の補正予算が講じられております。
(予算総額 654億8,528万9千円)

さらに、市民・事業者・団体から「マスクやフェイスシールド」「酸性電解水の製造機」「非接触式体温装置」「高濃度アルコール」など多くの善意が届いており、自助・互助の精神の下、連帯の絆が広まっていることに力強く感じています。

今後も、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に市民並びに行政当局との連携を深め、新しい生活様式を取り入れた感染リスク回避及び地域経済の活性化に尽力して参ります。

さて、鹿屋市議会6月定例会は、6月5日から6月25日までの21日間開催されました。

今議会に上程された議案は鹿屋市一般会計補正予算、鹿屋市消防団等公務災害補償や鹿屋市税条例等の専決処分に鹿屋市介護保険条例の一部改正など議案25件、委員会提出議案3件(定数及び委員会条例並びに会議規則の一部改正)、意見書1件(新型コロナウイルス感染症対策の財源支援)を「承認」「可決」、陳情1件(テニスコート使用料の減免)「趣旨採択」、報告4件(事故の和解など)が上程され慎重審議しました。

一般質問には16名が登壇し、多岐にわたり当局の見解を質しました。

今議会の所感として、

- *新型コロナウイルス感染症対策としては「対策本部の設置」をはじめ「大隅4市5町や医師会・消防組合・商工関係者」などとの意見交換を行い、感染症予防と市民生活・事業者への支援を迅速に取り組んでいる状況が伺えた。今後も市民に寄り添う施策の取り組みをしていただきたい。また、学校臨時休業(26日間)における授業時間不足(33時間)は夏休み期間を短縮して授業時間を確保することとしているが熱中症を配慮した空調環境を整備してほしい。
- *フッ化物洗口については虫歯予防効果が高いことから平成29年度から小学校で実施(希望者92%)している。令和2年度から中学校を計画し、現在2校が開始、一学期中にはすべての中学校で実施する。現在まで洗口液の誤飲や薬剤の希釈濃度の間違いの事例はあったが、児童への健康被害はない。事例を基に研修会等での指導やマニュアルの見直しを行っているとのことであり、今後も歯と口の健康及び心身の健康増進のために改善を図り進めてもらいたい。
- *梅雨、台風など自然災害の防災対策については防災行政無線やスマートアプリ及びかのやライフなど情報伝達手段を確保し、国・県などの防災関係機関と連携を強化している。避難体制は一次(13カ所)及び指定(47カ所)並びに福祉(5カ所)避難所を整備して非常食、粉ミルクなどや発電機及び照明器具を計画的に整備している。また、新防災マップを全世帯に配布していることを踏まえ、自らの命は、自ら守ることが第一義であるので日頃から災害について家族を含め準備していきましょう。
- *平成28年台風16号襲来による大隅湖右岸道路の運行については、国・県の治山工事(5ヶ所)が計画され、国工事の3ヶ所完了、県工事の1ヶ所は平成30年から令和2年に完了予定であります。あと1ヶ所については計画中から閉鎖されており、開放については安全第一であり、法面の新たな崩壊や落石などの危険性が考えられることから慎重に対応していますが、道路の利便性や観光面から県に強い要望活動を行い一日も早い開通を期待したい。
- *近年の豪雨により、笠之原台地5号排水路(寿4丁目)の増水対策を町内会長経由の要望に対し、南酪西側排水路整備工事として予算計上された。早い竣工を期待したい。
- *議員定数26名(2名減)、4常任委員会を3へ改編、議会報委員会の規定整備が第三次議会改革特別委員会で審議・提案され可決されました。次回選挙以降に適用されることが決定しました。今後も議会改革に引き続き取り組んで参ります。



5号排水路改修工事(予定)

新型コロナウイルス感染症拡大防止や消費喚起に伴う支援事業

令和2年鹿屋市一般会計補正予算120億8,528万9千円(第1号・2号・3号・4号)の概要

- (1)特別定額給付金・・・事業費 102億8,195万4千円(一律1人10万円支給、6月25日現在給付率約97%、申請期限7月31日)
- (2)臨時職員(40人程度)雇用・・・事業費 4,212万6千円(新型コロナウイルス対策の事業実施に伴う緊急的雇用)
- (3)かのや子育て応援給付金・・・事業費 1億8,872万3千円(新生児から高校生1人1万円支給)
- (4)子育て世帯臨時特別給付金・・・事業費 1億7,166万2千円(児童手当受給者に対し、子供1人あたり1万円支給)
- (5)放課後児童クラブ等支援事業・・・事業費1,363万1千円(放課後児童クラブやデイサービスへの支援)
- (6)学校給食における地産地消推進事業・・・事業費1,862万4千円(カンパチ・牛肉を食材として学校給食に提供)
- (7)休業協力金・・・事業費 1億1,000万円
(県の休業・営業時間短縮要請に協力した中小企業：10万円・個人事業者5万円を上乗せ支援、申請期限；令和2年7月31日)
- (8)がんばる事業者応援補助金・・・事業費 1,000万円(感染予防や消費喚起策などに取り組む1団体上限100万円補助)
- (9)中小企業等事業継続支援金・・・事業費 4億6,920万円
(令和2年3月から5月のいずれか1か月の売上が減少した中小企業(農林水産業者)など、中小企業30万円・個人事業者15万円支援)
- (10)かのやプレミアム商品券事業・・・事業費 2億9,757万円
(消費喚起による地域経済の活性化、商品券1冊1万3千円を1万円で販売、購入上限、1人世帯：3冊、2人以上世帯：6冊、購入申込、令和2年7月、利用期間；令和2年9月から11月)
- (11)PCR検査体制整備支援事業・・・事業費 200万円(鹿屋市医師会が設置するPCR検査の経費助成)
- (12)学校給食臨時休業対策事業・・・事業費 503万円(学校給食の休止に伴い、食材のキャンセルに要した費用助成)
- (13)水道基本料金免除による生活支援事業・・・影響額 約1億1千万円(令和2年6月から9月の4か月分の水道料金を免除)
- (14)過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業・・・事業費 1,963万6千円(かのや中央四心会(西大手町・本町・北田東大手町・朝日町内会)が実施する交流拠点の整備や地ビールの製造・販売などの地域産業の取り組み支援)
- (15)マイナポイント事業・・・事業費 917万2千円(ポイントを利用できる店舗の拡大に向けた事業の円滑実施)
- (16)低所得者介護保険料軽減事業・・・事業費 9,250万5千円
(消費税率引き上げに伴う高齢者への低所得者の影響緩和するため、市民税非課税世帯の軽減)
- (17)ひとり親世帯臨時特別給付金・・・事業費 1億7,520万円
(児童扶養手当を受給しているひとり親世帯等への給付；一世帯5万円、第2子以降1人につき3万円など)

新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言が5月25日に解除となり、さらに6月19日には都道府県をまたぐ移動が解禁となり、往来が賑やかになることから新型コロナウイルス禍の深刻化(第2波)が懸念されます。

新型コロナウイルスの感染拡大は飛沫・接触感染が考えられることから自らの感染症予防対策として、手洗い・マスク着用や消毒の励行に合わせ、①換気の悪い密閉空間、②多数が集まる密集場所、③間近で会話・発生をする密接場面を避けるなど自衛対策を講じると共に、一日も早い終息を願っております。

また、熱中症対策が欠かせない季節となりました。皆様には十分な睡眠や水分補給などの予防策を徹底し、体調管理に気をつけて充実した生活をお過ごしください。